

長田の下町を歩こう

総合政策学部生らが生番組をネット配信

映像メディアなどを研究している総合政策学部山中速人ゼミが、神戸市長田区で開催中の「下町芸術祭」で生番組をネット配信する。この芸術祭は、神戸ビエンナーレの一環として、10月31日(土)から11月13日(金)まで、阪神淡路大震災の被災地の復興をすすめる町おこしのイベントとして行われている。

山中ゼミは、神戸市長田区の地域放送局エフエムわいわい(FMY 77.8MHz)と連携し、地元商店街の公共スペースにサテライト放送局を立ち上げた。芸術祭の期間中、ゼミ生らが地域に密着したインタビューや街歩き、芸術イベントなどを紹介する生番組を制作し、ライブ配信する。また、週1回、FMYからラジオ番組も放送する予定。

※下町芸術祭 <http://www.shinnagata-artcommons.com/>

■ネット配信: <http://www.tcc117.org/fmy/index.php>

■日時: 10月31日(土)～11月13日(金)15時半～17時半
※11月6日・11月9日はお休み

■番組: 「□□のたまり場」放送番組表

- 11/3「劇場のたまり場～劇場ってどんなところ？」
「動く絵画のたまり場～ライブペインティングに密着しよう」
- 11/4「絵画のたまり場～人と人とを繋ぐ絵画の導(しるべ)」
- 11/5「造形のたまり場～ガラスと怪獣にこめられた思い」
- 11/7「町中のたまり場～グルメと遊びでつながろう！」
- 11/8「動いてみれ場？食べてみれ場？のたまり場
～アウトドアとグルメを楽しむ@新長田」
- 11/10「下町ガラスと路地のたまり場
～下町ガラスの魅力と路地に潜む非日常の世界」
- 11/11「未知との遭遇とのたまり場～こんなの初めて！」
- 11/12「前衛芸術のたまり場～枠にとられない作品たち」
- 11/13「芸術のたまり場～2週間の軌跡」



次号 11月9日(月)発行予定

秋のスポーツ特集 第2弾 -ラクロス部-

2年連続7回目の男女アベック関西制覇へ発進！
そして、歴史を変えるアベック日本一へ

体育会ラクロス部男子と同女子が、11月14日(土)に大阪府・鶴見緑地スタジアムで開催される2015年関西学生リーグ戦 ファイナル3 決勝戦に出場し、ともに関西制覇を目指す。アベック優勝となれば2年連続7回目の偉業となる。

優勝校は、第7回全日本ラクロス大学選手権大会に駒を進められる。悲願の男女日本一を目指す関西学院大にとって絶対に負けられない戦いとなる。

男子は、関西学生リーグ優勝10回を数える強豪で、昨年の第6回全日本ラクロス大学選手権で準優勝。選手には今年7月に開催された2015APLUアジアパシフィック選手権大会でU-22日本代表として優勝に貢献した喜田裕也(法学部4年生)と徳舛宗哉(経済学部4年生)を擁し、「今年こそは日本一」と中塚章人監督の鼻息は荒い。とはいえ、「目の前の試合に全精力を注ぐのみ」と初の日本一へ向けて余念がない。同じく女子も、関西学生リーグ優勝9回と全日本ラクロス大学選手権優勝1回(2011)・準優勝2回(2013、2014)の実績を誇る強豪で、2015APLUアジアパシフィック選手権大会でU-22日本代表として優勝に貢献した兼任 春奈(教育学部4年生)を擁し、日本一に向けて刺客なし。また、男女とも関西学生リーグ戦の合間を縫って関東遠征を行うなど、日本一へ向け準備万端だ。

過去6回の大学選手権大会(男子・女子)において関東勢以外が優勝したのは2011年の関西学院大学(女子)のみで、日本一への道が険しく厳しい道りであることには変わらない。関西勢の男女アベック日本一が実現すればラクロス界の歴史を変える大偉業といえるだけに、関西学院大の活躍が注目されている。

さあ、大偉業に向けての第一歩。11月14日(土)、ラクロス部男子・女子は、確かな一歩を踏み出す。

[男子] 創立:1988年*、部員:87名 [女子] 創立:1989年、部員:80名
*関西で初めて結成されたラクロス団体

